

おが
まち

日奈久ニュース

号外

発行日

2021年
令和3年
10月11日

俳句、絵手紙・俳画の力作そろそろ

第22回「九月は日奈久で山頭火」

第22回目を迎えた「九月は日奈久で山頭火」(実行委員長今田徳次郎氏)は新型コロナウイルス感染予防のため、俳句募集と絵手紙・俳画募集、おりや公開、句板町中ギャラリーにイベントを縮小して行われました。俳句募集と絵手紙・俳画募集は9月末に締め切り、10月上旬にそれぞれ審査が行われ、入賞者が次の通りに決まりました。

◇俳句◇

【大賞】

月がまるくて嘘のつけない母のいる

山田節子(美里町)

一般の部

【秀作】

秋夕焼神話の村が消えてゆく

宮澄陸子(美里町)

カフカ読み終へて晩夏に葉抜く
清水明美(八代市)

爽やかな波音に向き慰霊の碑
佐藤澄世(菊陽町)

【入選】

岩城恵美子(八代市)、田代孝(宇土市)、
中上ひろし(宇土市)、上村穂(熊本市)、
中崎公夫(菊池市)

一般の部

【秀作】

道場に響く気合いと扇風機

東坂終哉(鏡中三年)

短夜にえんぴつの音響くかな

花田美子(鏡中三年)

くりの実はとつてもおいしかったからほこ

丸山たくみ(日奈久小四年)

【入選】

前岡里奈(東京都町田市中学二年)、寺岡
望乃(鏡中三年)、内田亜弥(日奈久中三
年)、永松大志(龍峯小四年)、岩田康輔
(八代小五年)

【選者特選】

前山光則選

生き抜いて冬夕焼まであと白歩

高田三千子(美里町)

山下しげ人選

隣り合う墓も無くなりちろろ鳴く

上村益穂(熊本市)

米村恒憲選

八月の折鶴一羽濡れてをり

宇野木邦子(熊本市)

応募投句数 ジュニアの部323句

一般の部270句

絵手紙・俳画は次ページを

ご覧ください。

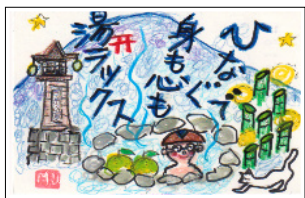
◇絵手紙・俳画◇

【特選作品】

実行委員長賞



五嶋カズエ(出水市)



山口みゆう(熊本市 10歳)

【入選作品】



日奈久郵便局賞
山本梓乃(山都町)



日奈久温泉旅館組合賞
大島灰慈(八代市)

日奈久温泉センター

ばんぺい湯賞



小崎洋子(熊本市)

湯の里日奈久振興会賞



大堂智津代
(出水市)



DMOやつしろ賞
内田斗碧
(八代市 中1)



審査員特別賞
(12枚組)
角 義雄(八代市)

【佳作】

齊藤のり子(熊本市)、今田豊子(八代市)、楯本恵子(八代市)、竹下喜美子(八代市)、湯治美代子(芦北町)、渡辺久己(八代市)、山崎照子(山鹿市)、田頭房子(出水市)、坂田靖子(山都町)、今福和歌子(八代市)、藤門葉子(八代市)、宮野 明(八代市)、山戸節代(熊本市)、前田夕三子(八代市)、篠田真由美(山都町)、谷口真菜(八代市 中3)

応募数110点
(内訳) 絵手紙93点 俳画17点、一般84点、中学生以下26点

絵手紙・俳画作品展

会場 潮青閣ホテル1階ロビー

会期 10月10日～31日

全作品を展示しています。